

平成 26 年度八戸市復興計画推進市民委員会意見への対応状況 (平成 27 年 4 月末現在)

2 . 地域経済の再興

市では平成 26 年度に八戸市復興計画推進市民委員会を 4 回開催し、委員の皆様から御意見をいただきました。

本資料は、「2 . 地域経済の再興」への御意見に対する平成 27 年 4 月末現在の市の対応状況についてとりまとめたものです。

なお、対応状況は、下記区分のとおりです。

【対応状況の区分】

- = 意見を踏まえ対応に努めている
- = 意見を参考に検討段階
- × = 意見への対応が難しい

復興計画全体に関する総括意見

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
1		<p>「地域経済の再興」については、国際物流拠点港を見据えた八戸港の更なる利用促進に向けた施策の積極的展開、魚市場の高度衛生管理や市場機能の集約化等を背景とした水産物の高付加価値化の推進、農業の担い手育成や6次産業化、畜産振興などの地域特性を踏まえた農林畜産業施策の推進、さらには八戸三社大祭などの当市の誇る観光資源の魅力の発信や、種差海岸の三陸復興国立公園指定等を契機とした地域活性化、及びLNGなどのエネルギー関連産業が集積する当市の地域特性を活かした産業観光施策の推進を図ること。</p> <p>八戸港の国際物流拠点港に向けた更なる港湾利用促進策の検討について 【産業振興課】 継続的に海外・首都圏においてポートセールスを行い、航路の拡充、利用促進のPRをしているほか、平成26年度から八戸港国際物流拠点化推進協議会による荷主向け補助制度を拡充しております。さらに、八戸港の今後の活用促進に向けたマーケティング調査を実施し、八戸港の利活用促進に向け取り組んでおります。</p> <p>魚市場の高度衛生管理や市場機能の集約化等を背景とした水産物の高付加価値化の推進について 【水産事務所】 荷捌き所A棟が対EU輸出水産食品取扱市場として登録されたことにより、水産物の高付加価値化および国際競争力の強化を図ります。</p> <p>農業の担い手育成について 【農業経営振興センター】 意見 9で回答</p> <p>農業の6次産業化について 【農業経営振興センター】 意見 10で回答</p> <p>畜産振興策の推進について 【農林畜産課】 本年8月頃に策定予定の「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン」の検討会議において、畜産振興のための施策を検討しており、昨年8月の検討会議設置以来、現在まで3回会議を実施しております。</p> <p>当市の誇る観光資源の魅力発信について 【観光課】 意見 18で回答</p> <p>種差海岸の三陸復興国立公園指定等を契機とした地域活性化について 【観光課】 種差観光協会へ補助金を交付し、地域の魅力を発信するパンフレットを作成したほか、種差海岸トレッキング、乗馬体験や鮫角灯台開放等のソフト事業を展開しています。また、アウトドアメーカー主催のイベント等においてPRし、当該地域への誘客を図ります。</p> <p>エネルギー関連産業が集積する当市の地域特性を活かした産業観光施策の推進について 【観光課、産業振興課】 意見 22で回答</p>	<p>[産業振興課] [水産事務所] [農業経営振興センター] [農林畜産課] [観光課]</p>

復興計画に掲げた4つの基本方向ごとの意見

2 「地域経済の再興」に関する意見

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
2		水産業の再興については、先進地域として他地域を牽引するため、ハサップ対応型荷捌き所の利用促進が重要となることを踏まえ、受入体制の整備や県外船の誘致に加え、稼働率向上のための具体的な施策を推進する必要がある。	[水産事務所]
		意見 7 で回答	
3		農林畜産業の再興については、就農希望者を受け入れる体制の充実や農業の担い手育成に努めるとともに、畜産業の振興、畜産バイオマス発電施設の立地促進など、幅広い施策に取り組む必要がある。	[農業経営振興センター] [農林畜産課] [環境政策課]
		就農希望者の受入体制の充実・整備について 【農業経営振興センター】 意見 8 で回答	
		農業の担い手育成について 【農業経営振興センター】 意見 9 で回答	
		畜産業の振興について 【農林畜産課】 意見 11 で回答	
4		畜産バイオマス発電施設の立地促進について 【農林畜産課、環境政策課】 意見 12 で回答	[産業振興課]
		企業活動の再興については、海外販路の拡大による貿易の振興に努めるとともに、若年層の県外への流出に歯止めをかけ雇用の場を確保するため、更なる企業誘致を推進する必要がある。	
		海外販路の拡大による貿易の振興について 県や関係団体と連携し、平成 27 年 6 月に米国シアトル、平成 28 年 1 月にベトナムホーチミンでの青森フェアを実施するほか、海外展示会へのブース出展及びバイヤーとのビジネスマッチングの機会を創出し、地場産品の海外販路拡大を支援します。 若年層の県外への流出に歯止めをかけ雇用の場を確保するための更なる企業誘致の推進について 意見 16 で回答	

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
5	観光・サービス業の再興については、八戸三社大祭や八戸えんぶりなどの当市の誇る観光資源の魅力発信、三陸復興国立公園種差海岸及びみちのく潮風トレイルの環境整備、当市に集積が進むエネルギー産業を活かした産業観光振興策の検討、外国人観光客を含め国内外から当市への誘客促進の取組などを推進する必要がある。		[観光課] [産業振興課]
		当市の誇る観光資源の魅力発信について 【観光課】 意見 18 で回答	
		みちのく潮風トレイルのコースへの案内板設置など、三陸復興国立公園種差海岸の環境整備について 【観光課】 意見 19 で回答	
		エネルギー関連産業が集積する当市の地域特性を活かした産業観光施策の推進について 【観光課、産業振興課】 意見 22 で回答	
	外国人観光客を含め国内外から当市への誘客促進の取組について 【観光課】 外国語表記のパンフレットの作成、ホームページの整備等を継続しながら、外国人観光客受入整備のため事業者向けの勉強会を実施しております。今後も各事業者への情報提供を行いながら継続して対応していく予定です。		
6	風評被害の防止については、食品・農林水産物等に関する放射性物質の検査体制が構築されていることから、食品等の検査結果について適時・適切に消費者へ情報発信し、本県・本市の食品等の安全性をPRしていく必要がある。		[農林畜産課] [農業経営振興センター] [水産事務所] [水道企業団経営企画課] [環境保全課]
		意見 25 で回答	

個別の施策・事業に対する意見

2 「地域経済の再興」

(1) 水産業の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
7	ハサップ対応型荷捌き所の稼働率向上を図るため、水産物の輸出に係る EU 市場の調査、受入体制の整備、県外船の誘致等の具体的な施策を実施する必要がある。		[水産事務所]
		水産庁が作成した「EU 向け水産食品輸出推進事業による報告書」にある EU 市場の調査結果、また、国内の同規模港の実態調査結果を踏まえ、県外船誘致策を含め、荷捌き所の稼働率向上について検討してまいります。	

(2) 農林畜産業の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
8		インターネットの活用などにより、人材育成を含む営農全般に関する情報を提供するとともに、就農希望者の受入体制の充実・整備を図る必要がある。	[農業経営振興センター]
		人材育成を含む営農全般に関する情報の提供について 農業に関する情報を、市ホームページの活用等により、農業者に対してワンストップで提供する体制を構築しています。(平成23年4月実施) 就農希望者の受入体制の充実・整備について 新規就農者向けの補助事業等の情報提供及び就農相談の窓口を設置しています。(平成23年4月実施)	
9		高校生を対象とした農業体験を市内の農家で実施するなど、農業の担い手を育成するための施策を検討する必要がある。	[農業経営振興センター]
		平成25年度から、新規就農者を対象とした農業技術を習得するための実地研修を当センターの圃場にて実施しています。(平成27年1~3月実施、平成27年度12~3月実施予定)	
10		先進地域の事例を参考にしながら、農業の6次産業化に向けて農業者と商工関係者が出会う場所の提供などに取り組む必要がある。	[農業経営振興センター]
		八戸いちごマルシェの開催(平成26年11月実施)やLet's eat 八戸野菜フォーラムの開催(平成26年7月・10月・11月・平成27年3月実施、平成27年6月実施予定)、伝統野菜トークカフェの開催(平成27年実施予定)により、商工業者に対し、八戸いちごをはじめとする農産物の利用を促しております。	
11		畜産業の振興のため、県に対し、畜産施設規模要件基準の緩和をさらに働きかける必要がある。	[農林畜産課]
		環境影響評価を所管している県に対し、平成26年7月に最重点要望事項として環境影響評価に係る畜産施設の規模要件緩和を要望しており、今年度も要望の方向で調整しております。	
12		畜産バイオマスによる発電をエネルギー政策として捉え、発電施設の立地を促進する施策が必要である。	[農林畜産課] [環境政策課]
		【農林畜産課】 事業者の動向も踏まえながら、平成27年8月頃策定予定の「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン」の検討会議において施策を検討しております。 【環境政策課】 平成27年8月頃策定予定の「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン」の検討会議において施策を検討しております。	
13		市及び運営主体である八戸市南郷観光農業振興会は、観光農園来園者のためのきめ細かな案内板の設置、交通アクセスの向上、さらには、来園者の要望等を反映した観光農園づくりに向けて、連携を強化する必要がある。	[農業経営振興センター]
		きめ細かな案内板の設置について 案内看板の設置については、観光農園の効果的PR方法及び誘客に向けた施策の一つとして、南郷観光農業振興会が補助事業を活用し取り組んでおります。 交通アクセスの向上について 案内看板等を設置していますが、どうしても農園の場所が分からないという方には、道の駅に寄っていただき、農園マップ等で丁寧に農園の場所を説明しています。それでも分からない方へは、園主が道の駅まで迎えに来ております。 来園者の要望等を反映した観光農園づくりについて 観光農園開園中に各園地でアンケート調査を行い、来園者からの要望等の把握に努めております。	

(3) 企業活動の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
14		当市の飼料コンビナートは、北東北の供給拠点であることから、畜産関連産業振興ビジョンを広域的な視点から策定する必要がある。	[農林畜産課]
		畜産振興については、八戸市のみならず広域的な観点からの展開が必要であることから、畜産関連産業振興ビジョンは、定住自立圏構成市町村を対象区域としております。	
15		海外バイヤー招聘事業は、海外販路の拡大という点で有効であることから、更なる地場産品のPRに向け、取組を強化する必要がある。	[産業振興課]
		平成26年度は、6月にAOMORI県産品輸出促進協議会(事務局:(株)ファーストインターナショナル)が北米バイヤーを招聘し、県内企業の訪問、商談、水産加工品展示商談会の視察等を実施しました。本事業を通じ30社以上のメーカーの商品が米国に輸出されたことから、平成27年度も引き続き、同団体ではバイヤー招聘商談会を実施することにしていきます。市としても関係団体と連携し、地場産品の更なる輸出拡大に向け、取り組んでまいります。	
16		若年層の県外への流出に歯止めをかけるため、雇用とまちの魅力向上の両面から、工業・商業・レジャー産業の誘致を検討する必要がある。	[産業振興課]
		製造業、IT・テレマーケティング関連産業、物流関連産業など、雇用創出効果又は地域経済への波及効果が大きい事業で、かつ、八戸地域の市場だけを対象とせず、既存事業者と競合しない産業の誘致を図ってまいります。	

(4) 観光・サービス業の再興

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
17		様々な国から訪れる外国人観光客の文化や食を考慮した誘客施策を検討する必要がある。	[観光課]
		外国人観光客の受入れについては、本年3月に事業者向け勉強会を開催したところであります。今後も関係機関や事業者との連携を図りながら、受入体制について検討してまいります。	
18		個人や少人数での旅行者が増えていることから、インターネット上で閲覧できるPR映像を作成し、八戸三社大祭や八戸えんぶりなどの当市の誇る観光資源の魅力を広く発信していく必要がある。	[観光課]
		インターネット上で閲覧できるPR映像の作成について 著作権フリーの観光PR動画を市ホームページ観光ページ内に掲載しております。 当市の誇る観光資源の魅力発信について 観光宣伝広告事業によるメディアを通じたPRや、ブログやSNS等によるリアルタイムな情報の発信に努めております。	

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
19		<p>葦毛崎展望台の第2駐車場や観光バス専用駐車場の整備の検討、みちのく潮風トレイルのコースへ分かりやすい案内板の設置など、三陸復興国立公園種差海岸の環境整備を推進する必要がある。</p> <p>観光バス駐車場は、トレッキングの拠点となる蕪島海浜公園前や種差海岸インフォメーションセンターなどにありますが、葦毛崎展望台第2駐車場や観光バス専用駐車場の整備については、景観と植生に支障のないよう様々な角度から慎重に検討する必要があることから、今後、駐車場の状況などを見ながら、必要性について検討いたします。</p> <p>また、みちのく潮風トレイルコースへの案内板の設置については、環境省で案内板や標柱の設置を進めており、今後も、既存案内板の更新等、自然景観に配慮した整備に取り組んでまいります。</p> <p>なお、三陸復興国立公園種差海岸地域内の移動には、種差海岸遊覧バスの利用や、みちのく潮風トレイルのコースを利用したトレッキングなど、海岸沿いの美しい自然を連続的に楽しんでいただけるようなコースを推奨しており、引き続き種差海岸の環境整備に努めてまいります。</p>	[観光課]
20		<p>ジャズフェスティバルなどの際の長期滞在促進に向けて、南郷ツーリズム事業として田舎体験となる民泊の受入れの充実を図る必要がある。</p> <p>南郷地区で農家民泊を行っている農家は4件ほどであり、達者村ホームステイ連絡協議会(南部町)や三八地方農業観光振興協議会が窓口となり、主に修学旅行生の受入れを行っております。</p> <p>南郷ツーリズム事業は、地域の特性を生かした着地型観光の推進を目的とした事業のため、現在、当事業では農家民泊は行っておりませんが、今後、農家民泊も含め事業の在り方について検討いたします。</p>	[観光課]
21		<p>市民のまちなか回遊をさらに進めていくため、美術館連携事業のサービスの一つとして、中心街駐車場との連携を検討する必要があります。</p> <p>平成27年3月に八戸中心商店街連絡協議会において、美術館を含む主要施設や駐車場の場所を明示した「八戸中心商店街ガイドマップ」を作成しており、当事業においても活用を図っております。</p>	[まちづくり文化推進室]
22		<p>LNGターミナル、コンバインドサイクル発電方式の火力発電所などのエネルギー産業の集積が進む当市の特性を踏まえた産業観光の振興策を推進し、観光誘客と市のブランドイメージ向上を図る必要がある。</p> <p>【観光課】 八戸広域観光推進協議会・(公社)八戸観光コンベンション協会と連携し、工場鑑賞ツアーなど、産業観光を意識した旅行商品の造成・情報発信を継続します。また、産業観光を進めている八戸商工会議所と連携してまいります。</p> <p>【産業振興課】 エネルギー関連企業の一部では、一定条件のもとで視察等の受入れを行っております。</p>	[観光課] [産業振興課]

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
23	<p>地場産品の販売促進にもつなげるよう、地場産木材を利用したバンガローの建設、キャンプ場内での地元の生鮮食品の販売、オートキャンプ場の整備などを検討する必要がある。</p>		<p>[観光課] [農林畜産課]</p>
	<p>現在、整備されている市内のキャンプ場は、カッコーの森エコーランドのほか種差海岸天然芝生地、市民の森不習岳等があり、道の駅なんごうなどの各キャンプ場近隣の施設等においては、地場産品の販売が行われており、また、各施設に対しては観光PRのパンフレット等の設置を行っております。</p> <p>オートキャンプ場については、現在、市内にはございませんが、近隣である名川チエリリン村(南部町)や、間木ノ平グリーンパーク(新郷村)などがあることから、これらの施設を活用することを基本としながら、PRに努めてまいります。</p> <p>なお、地場産木材を利用した市の建物としては、南部アカマツ、青森ヒバ、スギなど地域材をふんだんに使った不習岳の総合案内所のほか、八戸ポータルミュージアムはっちなどでも青森県産材が利用されており、木材利用の普及啓発を図っております。</p>		
24	<p>今年秋に十和田市で開催される B-1 グランプリに当たっては、十和田市や関係団体との連携により、当市の魅力のPRと誘客につなげる事業を検討する必要がある。</p>		<p>[観光課]</p>
	<p>B-1 グランプリ全国大会は、来場者数が 40 万人を超える非常に大規模なイベントであり、会場である十和田市に近く、宿泊施設の多い当市に宿泊される方も多いと予想されます。</p> <p>現在、十和田市や周辺市町と連携し、会場までのシャトルバスを運行することで 2 次交通の充実を図り、また各駅等において地域をPRするさまざまな情報提供を実施する予定であり、10 月のイベント開催に向け、当市のPRと誘客に努めます。</p>		

(5) 風評被害の防止

No.	意見の内容		[担当課]
	対応状況	対応内容	
25	農水産物、上水道、海水浴場等の放射性物質の監視測定を継続し、引き続き測定結果を適時・適切に市民に対し情報発信する必要がある。		[農林畜産課] [農業経営振興センター] [水産事務所] [水道企業団経営企画課] [環境保全課]
		<p>【農林畜産課】 現在、県が毎週公表している県産農水産物の放射性物質測定結果を、市ホームページ及びBeFMでお知らせしており、今後も継続予定です。</p> <p>【農業経営振興センター】 農産物の検査結果を随時、市ホームページ(平成23年8月～)及びコミュニティラジオ局BeFM内番組(平成24年12月～)にて公表しております。</p> <p>【水産事務所】 国及び県では各種魚種のモニタリングを継続中(平成23年7月～)であり、市ではマダラ及びサバの販売前検査を継続中(平成24年12月～)です。また、各検査結果については市ホームページ及びラジオ(BeFM)で公表しております。</p> <p>【水道企業団経営企画課】 これまでの調査で水道水の原水及び浄水から放射性物質が検出されたことは一度もありませんでした。また、八戸工業大学との共同研究において、浄水処理への影響は無く、今後の監視は不要であることが確認されております。ただし、再度、放射性物質が大量放出される事態になった場合は、緊急の検査を実施することとしております。(なお、共同研究の最終報告書はホームページ・公開コーナーで公開しております。)</p> <p>【環境保全課】 市内2箇所の水浴場で、海水の放射性物質濃度及び砂浜の空間線量率を開設前・開設中に各1回ずつ測定し、結果をホームページで公表しております(平成26年5月、7月実施)。平成27年度も同様に調査を行う予定です。</p>	